

つくばユナイテッドSunGAIAの選手(右)によるバレーボール指導



つくば市立荃崎中学校 地域と協力クラブ充実

私たちの学校は、全校生徒195人の小規模校です。生徒数は少ないけれど、学年に関係なくみんなと仲良くすることができるので、私は荃崎中学校が大好きです。

しかし、生徒数が少ないということで困っていることがあります。それは、部活動のことです。2年前に野球部が廃部になりました。サッカー部も廃部になる可能性があります。部員が少ないと、一人一人が練習できる時間は増えるけれど、練習内容が限られてしまいます。

この私たちの悩みを解消するために、荃崎中学校では地域の方々が協力して、KCSC(荃崎地区文化・スポーツクラブ)という組

織を立ち上げてくれました。KCSCは、部活動とは別に、サッカー、バレー、テニス、ハンドボール、卓球、吹奏楽の中から、自分がやりたいものを選び、月に3回程度活動をすることができます。

私は、KCSCのバレーに参加していました。現役のプロの選手がコーチとして来てくれるので、普段の部活動の練習よりもより専門的な指導を受けられたり、少人数でもできる練習メニューを教えてくださいましたので、とても充実した活動になっていました。この取り組みが、いろいろな学校に広がってほしいと思います。

(3年、高橋香乃)